

『勝工 Moodle』

コンテンツ作成マニュアル

L M S



- ・教材公開
- ・課題の管理
- ・テストの確認



教師



- ・教材の提示
- ・課題の確認
- ・テストの確認
- ・コミュニケーション

様々なデジタル教材を活用したコンテンツの作成法

茨城県立勝田工業高等学校

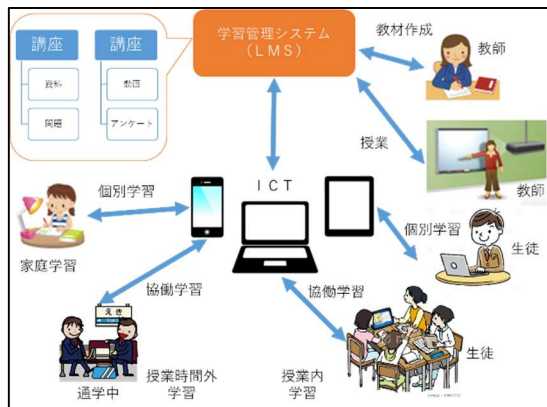
目次

1	はじめに	2
1.1	学習管理システム（LMS）について	2
1.2	Moodle とは	3
1.3	Moodle の基本機能	3
2	基本操作	5
2.1	ログイン	5
2.2	コースの追加	7
2.3	コースの表示・機能仕様の変更	10
3	リソース（教材や資料）の追加	15
3.1	コースの設定	15
3.2	ファイル	16
3.3	ページ	20
4	活動の追加	23
4.1	活動の追加	23
4.2	フォーラム	24
4.3	W i k i	25
5	小テストの追加	27
5.1	問題カテゴリの作成	30
5.2	問題の作成	33
5.3	小テストの作成	37
5.4	問題の追加	42

1 はじめに

1.1 学習管理システム（LMS）について

学習管理システム（Learning Management System）はLMSと呼ばれ、ネットワークを通じて、教師と生徒間でデータを共有及び活用するためのWebシステムです。生徒はスマートフォン、タブレット及びパソコン等を使ってサーバへアクセスし、学習を進めたり、課題を提出したりすることができます。また、自身の学習履歴や学習成果を確認するなど、学習管理をオンライン上で行うことができます。教師は生徒へ課題、解説、オンラインテストなどの教材コンテンツを提供するとともに、生徒の学習履歴、学習成果を確認することができます。その他、フォーラム、Wikiの掲示板を使って、コミュニケーションツールとして活用することができます。学習管理システムは、全ての教科で、全ての教師と生徒に利用できるように作成しました。教材となるコンテンツへのアクセスは、登録された者なら、いつでも、どこでも、何度でも行うことができます。



学習管理システムの作成に当たっては、次の点に留意しました。

- 全ての教科等で利用できる
- いつでも、どこでも、何度でも利用できる
- 安心して、安全に、簡単に利用できる

Moodle を利用することで次のようなことができます。

機能	活用方法
ページ	教師が資料を作成し、生徒が閲覧する機能
小テスト	生徒に小テストを出題し解答する機能
フォーラム	質問を受け付けたり、ディスカッションをしたりする機能
Wiki	学習した内容をまとめ、共同で記録する機能

1.2 Moodle とは

Moodle は個に応じた学習を支援する目的で運用される学習管理システム（LMS）です。多くの言語に対応し、オープンソースソフトウェア（OSS）であり、無償で使いはじめることができるため、広く使われています。

LMS というと、遠隔講義やデジタル教材を使って自学自習するもの、また手間暇をかけた立派なコンテンツが無ければ学習を始めることができないと思われがちです。しかし LMS は生徒への授業の案内、資料の配付のように単純な機能を使い、従来の対面授業をサポートする目的で使うこともできます。

Moodle にはたくさんの機能がありますが、すべての機能を使う必要はありません。まずは生徒と教師が無理なく使える機能から使い始めます。教師と生徒のコミュニケーションツールのつもりで気軽に使い始めてください。



1.3 Moodle の基本機能

Moodle の基本機能には、次の 4 点があります。

① ページ

ページ機能を使い、教師は資料の提示・配付を行います。生徒は、提示資料を閲覧することができ、必要に応じてダウンロードすることができます。



② 小テスト

教師は、Moodle 上で小テストを出題し、生徒はタブレット等を利用し解答します。

解答結果を表示することで、誤答した生徒に対してヒントを提示したり、正答した生徒に対して関連する情報へのリンクを示したりすることができます。



③ フォーラム

授業の質問を受け付けたり、生徒同士がディスカッションをしたりする場として使用することができます。

授業時間外の学習でつまづいている場合には、教師に質問を投げかけ教えを受けたり、生徒同士で学びあったりする等、ディスカッションをしながら学習をすすめることができます。



④ Wiki

だれでも自由に書き込むことのできるWeb ページのことです。

共同で使う掲示板のように、みんなで少しずつ書き込んでいくようなプロジェクトに使えます。



2 基本操作

2.1 ログイン

ここでは、『勝工 Moodle』へのログイン方法を説明します。

『勝工 Moodle』へアクセスする

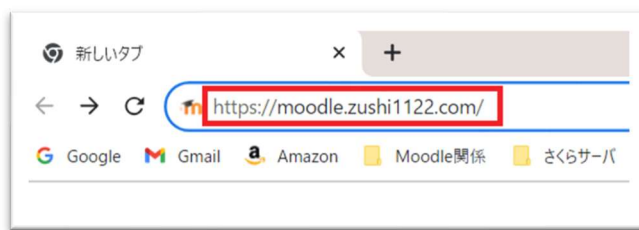
『勝工 Moodle』へは以下の QR コードからアクセスすると便利です。

パソコンで使う場合には①の方法で、スマートフォン等で使う場合には②の方法で、『勝工 Moodle』にアクセスしてください。

① URL を直接入力する

<https://moodle.zushi1122.com/>

アドレスバーに、上記の URL を入力し、Enter キーを押します。



② QR コードを読み取る

ログイン ID カードに記載されている QR コードを読み取り、アクセスしてください。



QR コード



『勝工 Moodle』へログインする



『勝工 Moodle』の Home ページ右上の「ログイン」をクリックしてください。

『勝工 Moodle』ログイン画面が表示されます。



『勝工 Moodle』 ログイン画面からユーザ名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックしてください。



ログインに成功すると、「マイコース」画面が表示されます。

「マイコース」画面には、ログインした教師が担当している授業コースの一覧が表示されます。



2.2 コースの追加

ここでは、コース(授業ごとのページ)を新しく追加する方法を説明します。

コース（授業ごとのページ）を新しく追加する



コースを新しく追加したいコースカテゴリのトップページを表示します。（ここでは、「各種資格取得講座」カテゴリの中に「ネットワークスペシャリスト試験対策」を追加する場合を例に説明します）

コースカテゴリのトップページ右上にある「さらに」をクリックして表示されるプルダウンメニューから「新しくコースを追加する」を選択します。

【重要】「さらに」が表示されていない場合は、Moodle 管理者に「コース作成者」のロール割り当てをしてもらってください。



コースの基本設定をする

項目を適宜設定します。

設定項目の詳細は以下を参考にしてください。

The screenshot shows a form titled '一般' (General) for course settings. The fields are as follows:

- A:** 長いコース名* (Long Course Name) with the value 'サンプルコース1' (Sample Course 1).
- B:** コース省略名* (Course Abbreviation) with the value 'sample1'.
- C:** コースカテゴリ (Course Category) with a dropdown menu showing 'マイコース' (My Course).
- D:** コース可視性 (Course Visibility) with a dropdown menu showing '表示' (Display).
- E:** 開講日 (Start Date) with a date picker set to 17/11/2018 00:00 and a checkbox for 'Yes'.
- F:** コースIDナンバー (Course ID Number) with an empty input field.

A : コース名

コース名入力します。

B : コース省略名

コース名に対応する省略名です。

C : コースカテゴリ

コースの開講学科がカテゴリに分類され表示されます。※コース名・コース省略名・コースカテゴリは、校内システム管理者が設定しますので、各教師が変更することはできません。

D : コース可視性

コースを生徒に公開するか否かを設定することができます。コース作成時には「非表示」に設定されています。「非表示」の場合、教師はコースを見ることができますが、生徒はコースを見ることができません。コースの編集が完了したら、「表示」に変更して生徒に公開してください。

E : 開講日, コース終了日

コースのセクションの開始日, 終了日をいつにするかを設定することができます。開始日に1回目の講義の日付を設定するとよいでしょう。

F : コースIDナンバー

コースに生徒を自動で登録する場合に用います。※校内システム管理者が設定します。

コースの説明を入力する

項目を適宜設定します。
設定項目の詳細は以下を参考
にしてください。

説明

▼

コース概要

A

コースイメージ

B

最大ファイルサイズ: 5 MB / 最大ファイル数: 1

ファイル

あなたはファイルをここにドラッグ&ドロップして追加できます。

許可されるファイルタイプ:
ウェブで使用されるイメージファイル .gif .jpe .jpeg .jpg .png .svg .svgz

A : コース概要

コースについての説明を記載することができます。コース概要は、コース一覧に表示されます。また、コースを検索する際、コース名に加えて、このコース概要も検索対象となります。

B : コース概要ファイル

コースのイメージ画像を追加することができます。コース概要ファイルは、コースを検索する際、コース一覧に表示されます。

2.3 コースの表示・機能仕様の変更

ここでは、すでに存在するコース(授業ごとのページ)のレイアウトや授業内容・活動等を変更する方法を説明します。

コース（授業ごとのページ）を表示する



「マイコース」画面から表示したいコースをクリックすると、そのコースのページ先頭部分が表示されます。（ここでは、「ハードウェア技術①」を選択した場合を示します）



編集モードへの切り替え

コースのレイアウトや授業内容・活動等を編集する場合は、事前に編集モードに切り替える必要があります。編集モードに切り替える場合は、画面右上の「編集モード」をクリックしてください。編集モード時のアイコンについては、下図の説明を確認してください。

通常モード時



編集モード時



MEMO 編集モード時のアイコン



A：セクションを移動する

ドラッグ＆ドロップすることで、任意の場所にセクションを移動することができます。

B：トピックを編集する

セクション名・概要の編集および利用制限を設定することができます。

C：ハイライト

セクションを強調表示に切り替えるときに使います。

D：トピックを表示する / トピックを隠す

セクションが生徒から見えないようにするときに使います。

E：トピックを削除する

セクションを削除するときに使います。

F：設定を編集する

項目の名称などを設定することができます。

G：右へ

項目を右へ移動するときに使います。

H：左へ

項目を左へ編集するときに使います。

I：項目を表示する / 項目を非表示する

項目が生徒から見えないようにするときに使います。目が閉じているときは生徒にはその項目は見えません。

J：複製

項目を複製するときに使います。

K：ロールを割り当てる

項目にロールを割り当てるときに使います。

L：削除

項目を削除するときに使います。

コースの設定内容を変更する



コースを表示し、「管理メニュー」の「設定」をクリックします。



「コース設定を編集する」ページが表示されます。一部の設定項目が折りたたまれた状態になっているので、画面右上の「すべてを展開する」をクリックします。



コースの基本設定を変更する

項目を適宜設定します。

設定項目の詳細は以下を参考にしてください。

The screenshot shows a '一般' (General) settings form for a course. The fields are as follows:

- A:** 長いコース名 (Long Course Name) with the value 'サンプルコース1' (Sample Course 1).
- B:** コース省略名 (Course Abbreviation) with the value 'sample1'.
- C:** コースカテゴリ (Course Category) with a dropdown menu showing 'マイコース' (My Course).
- D:** コース可視性 (Course Visibility) with a dropdown menu showing '表示' (Display).
- E:** 開講日 (Start Date) and コース終了日 (Course End Date). The start date is set to 17/11/2018 00:00, and the end date is set to 1/12/2019 00:00 with a 'Yes' checkbox.
- F:** コースIDナンバー (Course ID Number) with an empty input field.

A : コース名

コース名入力します。

B : コース省略名

コース名に対応する省略名です。

C : コースカテゴリ

コースの開講学科がカテゴリに分類され表示されます。※コース名・コース省略名・コースカテゴリは、校内システム管理者が設定しますので、各教師が変更することはできません。

D : コース可視性

コースを生徒に公開するか否かを設定することができます。コース作成時には「非表示」に設定されています。「非表示」の場合、教師はコースを見ることができますが、生徒はコースを見ることができません。コースの編集が完了したら、「表示」に変更して生徒に公開してください。

E : 開講日, コース終了日

コースのセクションの開始日, 終了日をいつにするかを設定することができます。開始日に1回目の講義の日付を設定するとよいでしょう。

F : コースIDナンバー

コースに生徒を自動で登録する場合に用います。※校内システム管理者が設定します。

コースの説明を変更する

項目を適宜設定します。
設定項目の詳細は以下を参考
にしてください。



A：コース概要

コースについての説明を記載することができます。コース概要は、コース一覧に表示されます。また、コースを検索する際、コース名に加えて、このコース概要も検索対象となります。

B：コース概要ファイル

コースのイメージ画像を追加することができます。コース概要ファイルは、コースを検索する際、コース一覧に表示されます。

3 リソース（教材や資料）の追加

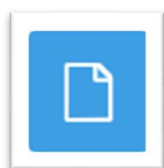
3.1 コースの設定

授業の資料を生徒にオンラインで提供するには、「リソース」としてコース内Web ページ、他の Web サイトへのリンクを作成もしくは、パワーポイントやPDFなどのファイルをアップロードします。

リソースの種類

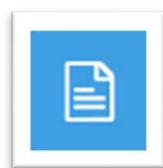
リソースには様々な種類がありますが、本システムの Moodle では、以下のリソースが主に使われています。

ファイル



「ファイル」を選択すると、コースの中にファイルをアップロードすることができます。

ページ



「ページ」を選択すると、文字・音声・画像・動画やリンク等を使って、HTML ベースのページを作成することができます。

リソースを追加する

リソースを追加する際は編集モードに切り替えて作業します。編集モードに切り替えるには、画面右上の「編集モード」をクリックしてください。



リソースを追加したいセクションにある「活動またはリソースを追加する」をクリックします。



3.2 ファイル

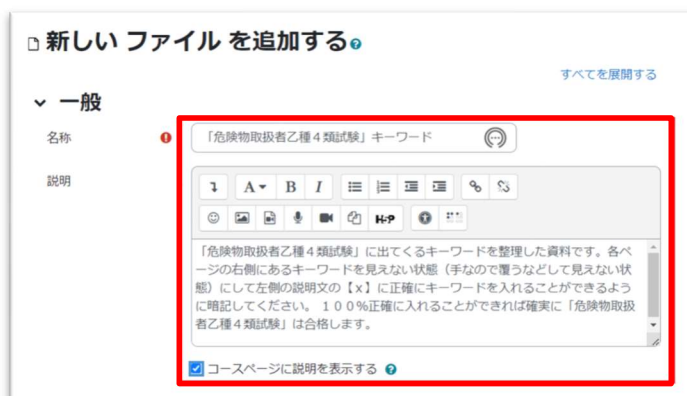
「ファイル」を選択すると、コースの中にファイルをアップロードすることができます。

ファイルを追加する

リソースを追加したいセクションにある「活動またはリソースを追加する」から「ファイル」をクリックします。



「一般」枠の必須事項「名称」と任意で「説明」を入力します。コースに説明を表示する場合は、「コースページに説明を表示する」にチェックを入れます。





アップロードしたいファイルを矢印 A で示したエリアにドラッグ&ドロップして追加します。



矢印 A で示したエリアにアップロードしたいファイルが表示されたら画面の一番下にある「保存してコースに戻る」をクリックします。



アップロードしたファイル名と説明文が表示されます、

「ファイル名」をクリックするとアップロードしたファイルが表示されます。



1 / 46 | 100% + | [Icons]

1

2

3

4

[0101] 危険物の定義

危険物とは、「消防法別表の【ア】に掲げる物品で同表に定める区分に応じ同表の性質欄に掲げる性状を有するもの」と定めている。消防法別表に定められないものは、【イ】の危険物ではない。【ウ】の危険物とは、常温(20℃)、常圧(1気圧)で【エ】または【エ】である。

危険物の各々の性質と主な危険物

	性質	主な危険物
第1類	【a】	【①】【①】
第2類	【b】	【②】【②】【②】
第3類	【c】	【③】【③】【③】
第4類	【d】	【④】【④】【④】【④】
第5類	【e】	【⑤】
第6類	【f】	【⑥】

[0102] 指定数量および法規制

指定数量とは危険物について、その【①】を勘案して法令で定める数量のことをいう。
指定数量の倍数が【②】の危険物の取扱い、貯蔵は危険物法令(消防法・危険物の規制に関する法令・危険物の規制に関する規則)の規制を受ける。
指定数量の倍数が【③】の危険物の取扱い、貯蔵は【④】の規制を受ける。
指定数量の倍数が1以上の危険物の取扱い、貯蔵、運搬は【⑤】の【⑥】が必要。
指定数量は危険物の危険性の基準となる数値なので、指定数量の数値が小さいほど危険性が【⑦】。
危険物の運搬については、指定数量の倍数に関係なく【⑧】の適用を受ける。
航空機、船舶、鉄道による危険物の貯蔵・取扱い、運搬については消防法の規制を【⑨】が、【⑩】を行う場合は消防法の規制を【⑪】。

ア	品名欄
イ	消防法上
ウ	消防法上
エ	液体
エ	固体
a	酸化性固体
b	可燃性固体
c	自然発火性および 禁水性固体または液体
d	引火性液体
e	自己反応性物質固体 または液体
f	酸化性液体
①	塩素酸塩類
①	過マンガン酸塩類
②	硫黄
②	赤リン
②	マグネシウム
③	黄リン
③	ナトリウム
③	アルキルリチウム
④	特殊引火物
④	第1~4石油類
④	アルコール類
④	動植物油類
⑤	ニトロ化合物
⑥	過酸化水素
①	危険性
②	1以上
③	1未満
④	火災予防条例(市町村条例)
⑤	市町村長等
⑥	許可
⑦	大きい
⑧	消防法
⑨	受けない
⑩	給油
⑪	受ける

3.3 ページ

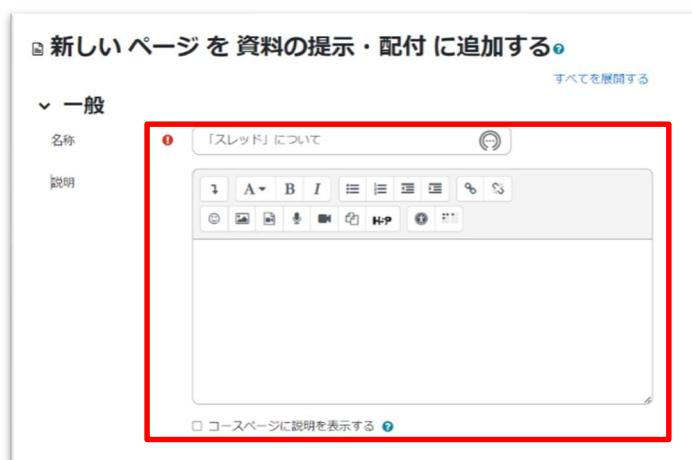
「ページ」を選択すると、独立したWeb ページを作成することができます。ページモジュール*1を使用する利点は、スマートフォンやタブレット等で手軽に作成及び編集が可能な点です。

ページを追加する

リソースを追加したいセクションにある「活動またはリソースを追加する」から「ページ」をクリックします。



「一般」枠の必須事項「名称」と任意で「説明」を入力します。コースに説明を表示する場合は、「コースページに説明を表示する」にチェックを入れます。



*1 ページモジュールは、教材コンテンツを作成、編集する機能です。

「コンテンツ」枠の「ページコンテンツ」に、ページの内容を入力します。

画像イメージは、コピー元資料からコピー&ペーストで入力します。

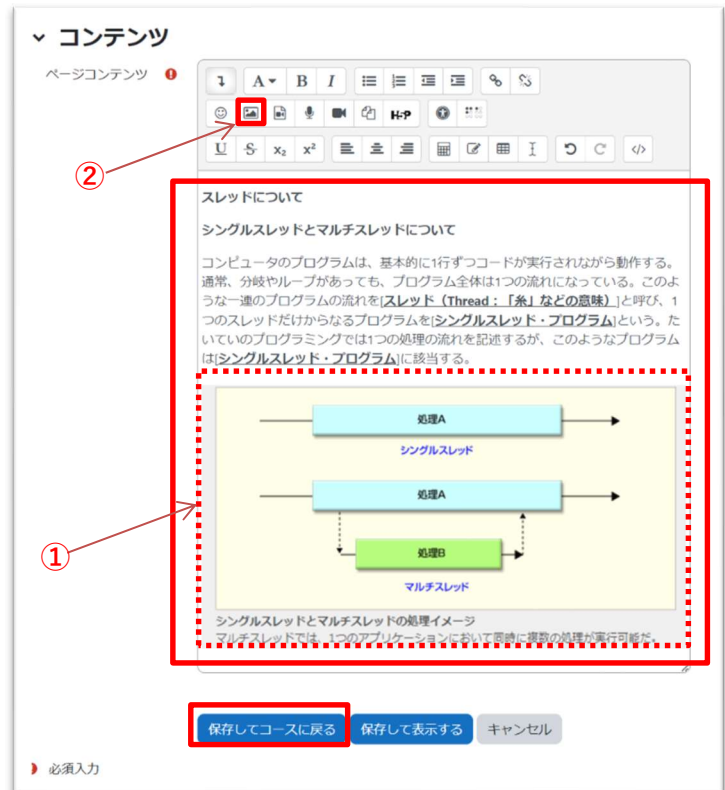
「保存してコースに戻る」をクリックします。

なお、画像イメージの拡大・縮小の調整をしたい場合は、以下の手順で行います。

(1) ①「画像イメージ」→②「イメージを挿入または編集する」の順でクリックすると「イメージ属性」画面が表示されます。

(2) 「イメージ属性」画面のサイズ指定欄に適切な数値を入力し、「イメージを保存する」をクリックします。

“自動サイズ”を有効にすると、縦・横のいずれかを入力するだけで拡大・縮小の調整前の縦・横の比率で処理します。



作成した「ページ」をクリックするとページが表示されます。

▼ 資料の提示・配付

教師は資料の提示・配付を行います。生徒は、提示資料を開覧することができ、必要に応じてダウンロードすることができます。

※「活動またはリソースを追加する」画面から[ファイル]機能、[ページ]機能を選択して使用します。



「スレッド」について

完了マークする



Home マイコース



先生 ▼

編集モード

基本情報技術者試験対策【科目A】 / 「スレッド」について



「スレッド」について

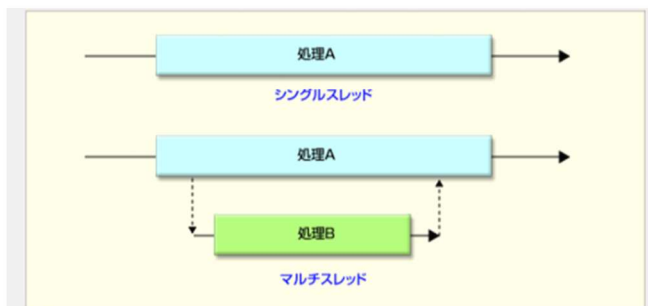
ページ 設定 さらに▼

完了マークする

スレッドについて

シングルスレッドとマルチスレッドについて

コンピュータのプログラムは、基本的に1行ずつコードが実行されながら動作する。通常、分岐やループがあっても、プログラム全体は1つの流れになっている。このような一連のプログラムの流れを「スレッド (Thread: 「糸」などの意味)」と呼び、1つのスレッドだけからなるプログラムを「シングルスレッド・プログラム」という。たいていのプログラミングでは1つの処理の流れを記述するが、このようなプログラムは「シングルスレッド・プログラム」に該当する。



シングルスレッドとマルチスレッドの処理イメージ

マルチスレッドでは、1つのアプリケーションにおいて同時に複数の処理が実行可能だ。

最終更新日時: 2023年 08月 10日(木曜日) 13:43

4 活動の追加

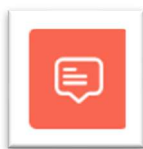
4.1 活動の追加

「活動」とは生徒がコースの中で何らかの学習行動をとるものです。例えば、フォーラムに参加することやW i k iに書き込むことなど、何らかの行動を求めるものです。

活動の種類

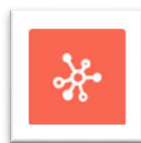
活動には様々な種類があります。本システムの Moodle では以下の活動が主に使われています。

フォーラム



生徒への連絡やディスカッションのためのフォーラムという機能があります。生徒の投稿に点数をつけることで評価に含めることもできます。フォーラムへの投稿は電子メールにも通知されます。

W i k i



W i k i (ウィキ) はだれでも自由に書き込むことのできる Web ページのことです。共同で使う黒板のように、みんなで少しずつ書き込んでいくようなプロジェクトに使えます。

活動を追加する

活動を追加する際は編集モードに切り替えて作業します。編集モードに切り替えるには、コース右上の「編集モードの開始」をクリックします。



活動を追加したいセクションにある「活動またはリソースを追加する」をクリックします。



4.2 フォーラム

フォーラムは、教師及び生徒同士のディスカッションの場です。

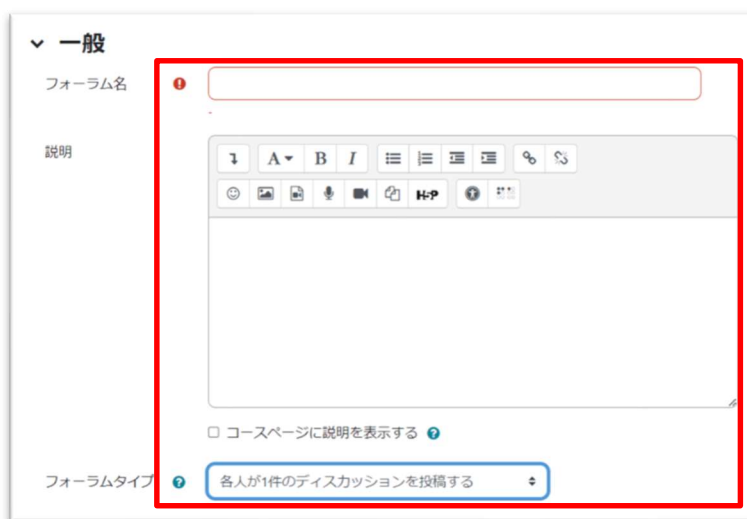
※コース上に初期状態で作成されているアナウンスメントは、教師から一方的に発信するフォーラムです。

フォーラムを作成する

フォーラムを追加したいセクションの「活動またはリソースを追加する」から「フォーラム」をクリックします。



「一般」枠の必須事項「フォーラム名」と任意で「説明」を入力します。コースに説明を表示する場合は、「コースページに説明を表示する」にチェックを入れます。必要に応じてフォーラムタイプを選択します。1つのトピックについて生徒全員が投稿するなら「トピック1件のシンプルなディスカッション」を、レポートのピアレビューなどのために生徒全員が個別のトピックを作成するなら「各人が1件のディスカッションを投稿する」を選択します。



生徒の投稿に点数をつける場合は、「評価」枠の「総計タイプ」を設定します。ここが「評価なし」になっているとそのフォーラムは評価の対象にはなりません。生徒がこのフォーラム内での投稿に対して獲得した評価の平均、数、最大、最低、合計のどれをその生徒の評価とみなすかを設定します。



「保存してコースに戻る」をクリックします。

4.3 Wiki

Wikiはだれでも自由に書き込むことのできるWeb ページのことです。共同で使う掲示板のように、みんなで少しずつ書き込んでいくようなプロジェクトに使えます。

Wikiを作成する

Wikiを追加したいセクションの「活動またはリソースを追加する」から「Wiki」をクリックします。



「一般」枠の必須事項「Wiki名」と「先頭ページ名」を、任意で「説明」を入力します。コースに説明を表示する場合は、「コースページに説明を表示する」にチェックを入れます。

▼ 一般

Wiki名

説明

コースページに説明を表示する

Wikiモード

先頭ページ名

▶ 必須入力

5 小テストの追加

「小テスト」は、『勝工 Moodle』上で生徒に問題を出題し、解答させることができる機能です。授業の内容を理解しているかの確認や、授業を欠席して小テストを受けられなかった生徒も小テストを受けることができます。

『勝工 Moodle』では「○/×問題」「記述問題」など様々な形式の問題を作成することができます。生徒には複数の問題からなる「小テスト」として提示されます。小テストを作成するためには、小テストの受験可能な回数や日時の設定、小テストに含める個別の問題の作成や編集、小テストに含める問題の選択、という3種類の作業を行います。

問題の種類

作成できる問題には様々な形式がありますが、基礎的・基本的な知識の習得を目指すためには、以下の5つが有効だと考えます。

多肢選択問題

複数の選択肢から正解を選択する問題です。さらに、解答が1つの場合の「単一解答問題」と、複数ある場合の「複数解答問に分かれます。

○/×問題

2つの選択肢「○」および「×」のみ持ったシンプルな形の多肢選択問題です。

記述問題

単語やフレーズを解答させる問題です。複数の正解がある場合でも、それぞれの答えに対して、0～100%までの異なる評点を与えることができます。

数値問題

単位を使って数値で解答することができます。また、さまざまな解答モデルに対して許容範囲を設定して評定することができます。

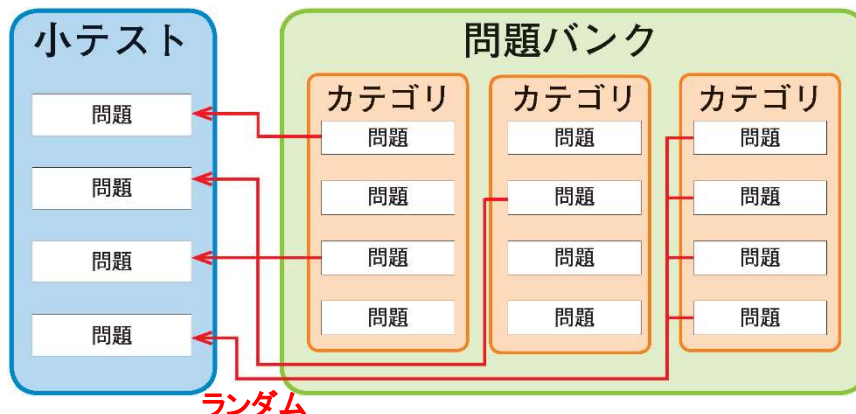
ミッシングワ

プルダウンメニューを使って問題テキスト内の足りない言葉を埋めます。

ード選択問題

「小テスト」と「問題」の違い

小テストは問題の集合です。また作成した問題は問題バンクに蓄積され、他の小テストに再利用することができます。さらに問題バンクはカテゴリに分割することができ、カテゴリ内の問題をランダム出題する小テストを作ることができます。



小テストの作成手順

小テストを作成するには、次の4つの手順を踏みます。各手順の詳細な操作手順は次頁以降を参考にしてください。

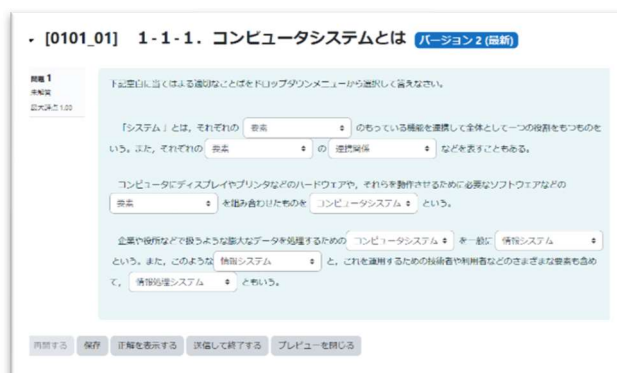
手順1

問題カテゴリを作成します。



手順2

問題カテゴリに問題を作成します。



手順 3

小テストの名称や期間などを設定します。

The screenshot shows the configuration interface for a quiz. It is divided into three main sections: '一般' (General), 'タイミング' (Timing), and '評点' (Scoring).

- 一般 (General):** Includes a '名称' (Name) field with a refresh icon and a rich text editor for '説明' (Description). A checkbox at the bottom allows 'コースページに説明を表示する' (Show description on course page).
- タイミング (Timing):** Contains settings for '小テスト受験可能期間の開始日時' (Start date and time), '小テスト受験可能期間の終了日時' (End date and time), '制限時間' (Time limit) in minutes, and a dropdown for '制限時間を経過した場合' (When time limit is exceeded).
- 評点 (Scoring):** Includes a '評定カテゴリ' (Rating category) dropdown, a '合格点' (Passing score) field, a '受験可能回数' (Number of attempts) dropdown, and a '評定方法' (Scoring method) dropdown.

手順 4

小テストに問題を追加します。

「

The screenshot shows the '問題' (Questions) page for a quiz titled 'コンピュータシステムと情報システム'. The page includes a navigation bar with '小テスト', '設定', '問題', '受験結果', '問題バンク', and 'さらに'. The main content area shows a list of questions with the following details:

- 問題: 2 | この小テストは公開されています。 (Maximum score: 10.00, Save button)
- 操作: 改ページ調整, 複数のアイテムを選択する (Total score: 10.00)
- シャッフル: シャッフル
- ページ 1: 1 [0101_01] 1-1-1. コンピュータシステ... (Score: 5.00)
- ページ 2: 2 [0101_02] 1-1-2. システムエンジニア... (Score: 5.00)

5.1 問題カテゴリの作成

小テストを作成する以下の4つの手順のうち、ここでは「問題カテゴリを作成する」を説明します。

- (1) **問題カテゴリを作成する**
- (2) 問題カテゴリに問題を作成する
- (3) 小テストの名称や期間などを設定する
- (4) 小テストに問題を追加する

問題カテゴリを作成する

小テストを作成するコースカテゴリをクリックします。



「さらに」をクリックして表示されるプルダウンメニューから「問題バンク」を選択します。



プルダウンメニューから「カテゴリ」を選択します。



[手順①]

「カテゴリを追加する」をクリックします。



[手順②]

親になるカテゴリを選択し、「名称」にカテゴリの名称を入力します。

必要に応じてカテゴリ情報を入力し、「カテゴリを追加する」をクリックします。



[手順③]

カテゴリが追加されたことを確認します。



カテゴリ構成に応じて上記の [手順①] ~ [手順③] を繰り返す。

[手順①]

「カテゴリを追加する」
をクリックします。



[手順②]

親になるカテゴリを選択し、「名称」にカテゴリの名称を入力します。

必要に応じてカテゴリ情報を入力し、「カテゴリを追加する」をクリックします。



[手順③]

カテゴリが追加されたことを確認します。



5.2 問題の作成

小テストを作成する以下の4つの手順のうち、ここでは「問題カテゴリに問題を作成する」を説明します。

- (1) 問題カテゴリを作成する
- (2) **問題カテゴリに問題を作成する**
- (3) 小テストの名称や期間などを設定する
- (4) 小テストに問題を追加する

問題カテゴリに問題を作成する

① 小テストを作成するコースカテゴリをクリックします。



② 「さらに」をクリックして表示されるプルダウンメニューから「問題バンク」を選択します。



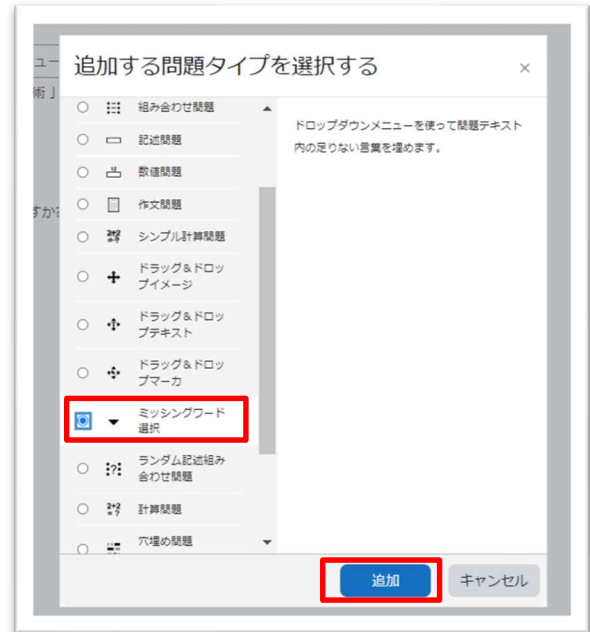
③ プルダウンメニューから「問題」を選択します。



④ 小テストを作成する問題カテゴリをプルダウンメニューから選択します。

⑤ 「新しい問題を作成する」をクリックします。

希望の問題のタイプを選択し、「追加」をクリックします。（今回は「ミッシングワード選択」が選択された場合を例に説明します）



「問題名」にこの問題の名称を入力します。

※問題の名称は生徒には見えませんが、教師が多数の問題の中から、該当の問題を選択する際に使うので、一目で分かる適切な名前をつけてください。

「問題テキスト」に問題の文章を入力します。

選択肢は、「問題テキスト」の[[1]]～[[n]]に当てはまる答えを、それぞれ選択肢[[1]]～[[n]]に入力します。

「変更を保存する」をクリックします。



問題バンクが表示され、登録内容が確認できます。

「編集」クリックして表示されるプルダウンメニューから「プレビュー」を選択すると小テストの動作確認ができます。

問題バンク

カテゴリを選択してください: 1-1. コンピュータシステムと情報システム (1)

適用されたタグフィルタはありません。

タグでフィルタする ...

問題リスト内に問題テキストを表示しますか? No

検索オプション

- サブカテゴリの問題も表示する
- 古い問題も表示する

新しい問題を作成する ...

問題	操作	ステータス	バージョン	作成者	コメント	チェックが必要ですか?	ファシリティ指標	識別効率	利用	
[0101_01] 1-1-1. コンピュータシステムとは	編集	準備完了	v2	生徒の学習指導・支援をする先生の名前が表示される		0	-	N/A	N/A	0

選択したものを ^

新しい問題を作成する ...

- 問題を編集する
- 複製
- タグを管理する
- プレビュー**
- 履歴
- 削除
- Moodle XMLとしてエクスポートする

問題 1
未解答
最大評点 1.00

下記空白に当てはまる適切なことばをドロップダウンメニューから選択して答えなさい。

「システム」とは、それぞれの要素 のもっている機能を選択して全体として一つの役割をもつものをいう。また、それぞれの要素 の 連携関係 などを表すこともある。

コンピュータにディスプレイやプリンタなどのハードウェアや、それらを動作させるために必要なソフトウェアなどの要素 を組み合わせたものを コンピュータシステム という。

企業や役所などで扱うような膨大なデータを処理するための コンピュータシステム を一般に 情報システム という。また、このような 情報システム と、これを運用するための技術者や利用者などのさまざまな要素も含めて、 情報処理システム ともいう。

再開する 保存 正解を表示する **送信して終了する** プレビューを閉じる

小テストの解答をしたあと、「送信して終了する」をクリックします。

次頁に示すように、実際に生徒が小テストを実施したときと全く同じ内容でテスト採点結果が表示されます。この表示内容を事前チェックすることにより、生徒が小テストを実施しても問題ないかの確認をすることができます。

▼ [0101_01] 1-1-1. コンピュータシステムとは バージョン 2 (最新)

問題 1

部分的に正解

0.67 / 1.00

下記空白に当てはまる適切なことばをドロップダウンメニューから選択して答えなさい。

「システム」とは、それぞれの のもっている機能を連携して全体として一つの役割をもつものをいう。また、それぞれの の などを表すこともある。

コンピュータにディスプレイやプリンタなどのハードウェアや、それらを動作させるために必要なソフトウェアなどの を組み合わせたものを という。

企業や役所などで扱うような膨大なデータを処理するための を一般に という。また、このような と、これを運用するための技術者や利用者などのさまざまな要素も含めて、 ともいう。

あなたの答えは部分的に正解です。

あなたは 6 件を正しく選択しました。

正解:

下記空白に当てはまる適切なことばをドロップダウンメニューから選択して答えなさい。

「システム」とは、それぞれの [要素] のもっている機能を連携して全体として一つの役割をもつものをいう。また、それぞれの [要素] の [連携関係] などを表すこともある。

コンピュータにディスプレイやプリンタなどのハードウェアや、それらを動作させるために必要なソフトウェアなどの[要素] を組み合わせたものを [コンピュータシステム] という。

企業や役所などで扱うような膨大なデータを処理するための[コンピュータシステム] を一般に [情報処理システム] という。また、このような[情報処理システム] と、これを運用するための技術者や利用者などのさまざまな要素も含めて、 [情報システム] ともいう。

再開する

保存

正解を表示する

送信して終了する

プレビューを閉じる

5.3 小テストの作成

小テストを作成する以下の4つの手順のうち、ここでは「小テストの名称や期間などを設定する」を説明します。

- (1) 問題カテゴリを作成する
- (2) 問題カテゴリに問題を作成する
- (3) **小テストの名称や期間などを設定する**
- (4) 小テストに問題を追加する

小テストを作成し名称や期間等を設定する

小テストを作成・追加するコースページに小テストのセクションがない場合は、小テストのセクションを最初に追加します。

「編集モード」すると表示される「:」をクリックして表示されるプルダウンメニューから「トピックを編集する」を選択します。

The image shows two screenshots of a course page in edit mode. The top screenshot shows the course page 'コンピュータシステム技術' with a list of sections: 一般, 資料の提示・配付, フォーラム, wiki, and トリップ4. A red box highlights the '編集モード' toggle in the top right. A red arrow points to the 'トピックを編集する' option in the dropdown menu for the 'トリップ4' section. The bottom screenshot shows the '一般' section settings. The 'セクション名' field contains '第1章 コンピュータシステムの概?'. The '概要' field has a rich text editor. The '変更を保存する' button is highlighted with a red box.

「セクション名」を入力して、「変更を保存する」をクリックします。



小テストを追加したいセクションの「活動またはリソースを追加する」から「小テスト」をクリックします。



ここでは、小テストの作成について全体の流れを見ていきます。詳細については、次ページ以降を確認してください。「一般」枠の「名称」に小テストのタイトルを、「説明」に小テストの説明を入力します。「タイミング」枠で小テストの公開期間を、「評点」枠で受験可能回数などの設定をします。その他の項目も適宜選択します。



「保存してコースに戻る」をクリックします。

小テストの名称を設定する

項目を適宜設定します。

設定項目の詳細は以下を参考にしてください。

▼ 一般

名称 **A** コンピュータシステムと情報システム

説明 **B**

コンピュータシステムとシステムエンジニアについての問題です。

C コースページに説明を表示する

コースページ内には以下の C1 ように表示されます。

▼ 第1章 コンピュータシステムの概要

コンピュータシステムと情報システム

C1 コンピュータシステムとシステムエンジニアについての問題です。

A：名称

授業ページに表示される小テスト名を入力します。

B：説明

小テストの要約を入力します。

C：コースページに説明を表示する

コースページに説明を表示するか否かを指定します。このオプションを有効にした場合、上記「説明」欄の説明文が（上図の C1 のように）コースページ内の活動／リソースのリンクの下に表示されます。

小テストの期間や時間を設定する

項目を適宜設定します。

設定項目の詳細は以下を参考にしてください。

▼ タイミング

A 小テスト受験可能期間の開始日時 13 8月 2023 20 36 有効にする

B 小テスト受験可能期間の終了日時 13 8月 2023 20 36 有効にする

C 制限時間 0 分 有効にする

D 制限時間を経過した場合 開いている受験を送信できる場合は送信猶予期間を設けますが、問題には解答で

E 送信猶予期間 0 分 有効にする

A：小テスト受験可能期間の開始日時

小テストの受験可能期間の開始日時を設定します。「Yes」のチェックボックスのチェックを入れると、日時が設定可能になります。ここで設定した日時を過ぎると小テストが公開されます。

B：小テスト受験可能期間の終了日時

小テストの受験可能期間の終了日時を設定します。「Yes」のチェックボックスのチェックを入れると、日時が設定可能になります。ここで設定した日時を過ぎると小テストが非公開になります。

C：制限時間

小テストの制限時間を設定します。「Yes」のチェックボックスにチェックを入れると、制限時間が設定可能になります。

D：制限時間を経過した場合

制限時間を経過した場合の対応で、「開いている受験は自動的に送信されます」を選択した場合、制限時間に達した時点で、解答がどの程度入力されているかにかかわらず小テストは強制的に送信（提出）されます。

E：送信猶予期間

制限時間を経過した場合の対応で、「開いている受験を送信できる場合は猶予期間を設けますが、問題には解答できません」を選択した場合、送信（提出）までの猶予期間を設定します。

小テストを出題する方法を設定する

項目を適宜設定します。

設定項目の詳細は以下を参考にしてください。

The screenshot shows a settings panel for a quiz. It is divided into sections: '採点' (Scoring), 'レイアウト' (Layout), and '問題の挙動' (Question Behavior). Under '採点', '受験可能回数' (Number of attempts) is set to '無制限' (Unlimited) and is highlighted with a red box labeled 'A'. Under '問題の挙動', '問題内部をシャッフルする' (Shuffle questions) is set to 'Yes' and is highlighted with a red box labeled 'B'. '問題動作' (Question action) is set to '遅延フィードバック' (Delayed feedback) and is highlighted with a red box labeled 'C'.

A：受験可能回数

生徒が受験できる回数を指定します。デフォルトは「無制限」です。

B：問題内部をシャッフルする

「Yes」を選択すると、設問の選択肢の並び順がシャッフルされます。

C：問題動作

生徒がそれぞれの問題で答えを入力した後、結果が表示される前に、小テストの解答すべてを送信してもらいたい場合には、「遅延フィードバック」モードを使用します。結果を与えても正解できない場合には、難易度の低い次の問題に挑戦できるよう「複数受験インタラクティブ」モードを使用します。

5.4 問題の追加

小テストを作成する以下の4つの手順のうち、ここでは「小テストに問題を追加する」を説明します。

- (1) 問題カテゴリを作成する
- (2) 問題カテゴリに問題を作成する
- (3) 小テストの名称や期間などを設定する
- (4) **小テストに問題を追加する**

小テストに問題を追加する

問題を追加したい「小テスト」をクリックします。

(ここでは、「コンピュータシステムと情報システム」を例に説明します。)



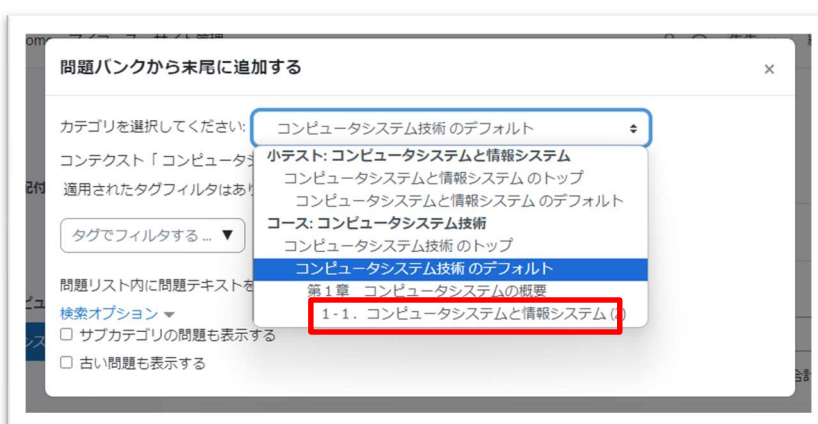
「問題を追加する」をクリックします。



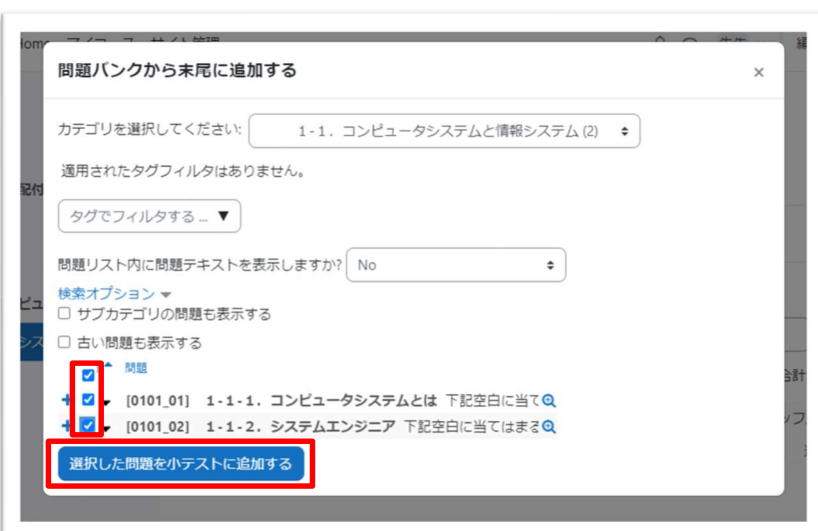
「追加」をクリックすると表示されるプルダウンメニューから「問題バンクから」を選択します。



追加したい問題が入っている問題バンクカテゴリを選択します。(ここでは、「1-1. コンピュータシステムと情報システム」を例に説明します。)



小テストに追加したい問題横のチェックボックスにチェックを入れ、「選択した問題を小テストに追加する」をクリックします



「評点」および「最大評点」を設定します。「評点」には各問題の点数、「最大評点」には小テストの合計点を入力し「保存」をクリックします。

問題をシャッフルで出題したい場合は、シャッフルにチェックを入れます。

コンピュータシステムと情報システム

小テスト 設定 問題 受験結果 問題バンク さらに▼

問題

問題: 2 | この小テストは公開されています。

最大評点 10.00 保存

改ページ調整 複数のアイテムを選択する

合計評点: 10.00

シャッフル

ページ 1

1 [0101_01] 1-1-1. コンピュータシステ... 常に最新 5.00

ページ 2

2 [0101_02] 1-1-2. システムエンジニア... 常に最新 5.00

「管理メニュー」の「小テスト」をクリックし、画面更新させます。

コンピュータシステム技術 / コンピュータシステムと情報システム

コンピュータシステムと情報システム

小テスト 設定 問題 受験結果 問題バンク さらに▼

「小テストをプレビューする」をクリックすると実際に問題を解くことができるので、問題に不備がないか確認します。

コンピュータシステム技術 / コンピュータシステムと情報システム

コンピュータシステムと情報システム

小テスト 設定 問題 受験結果 問題バンク さらに▼

完了マークする

コンピュータシステムとシステムエンジニアについての問題です。

小テストをプレビューする

コンピュータシステム技術 / コンピュータシステムと情報システム / プレビュー

コンピュータシステムと情報システム

小テスト 設定 問題 受験結果 問題バンク さらに▼

戻る

問題 2
未解答
最大評点 5.00
問題にフラグを付ける
問題を編集する

下記空白に当てはまる適切なことばをプルダウンメニューから選択して答えなさい。

「システム」とは、それぞれの [] のもっている機能を連携して全体として一つの役割をもつものをいう。また、それぞれの [] の [] などを表すこともある。

小テストナビゲーション

1 2

テストを終了する...

新しいプレビューを開始する

<参考文献>

- ・井上博樹（ほか3人）共著 「Moodle 入門」 海文堂出版 平成 18 年 9 月
- ・中井俊樹（ほか3人）共著 「e ラーニングハンドブック」 マナハウス 平成 15 年 7 月
- ・志賀栄文著 「コンテンツ作成の手引」 令和 2 年 5 月
- ・Moodle プロジェクト Moodle 公式サイト <https://moodle.org/>
- ・さくらインターネット株式会社 <https://www.sakura.ne.jp/>